

製品名: PI3 キナーゼ触媒サブユニット α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86439**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:20-1:50, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 124 kDa; Observed MW: 110 kDa

抗原情報

遺伝子名	PI3-Kinase catalytic subunit alpha
別名	MCM; CWS5; MCAP; PI3K; CLOVE; MCMTC; PI3K-alpha; p110-alpha
遺伝子 ID	5290
SwissProt ID	P42336
免疫原	ヒト PI3 キナーゼ触媒サブユニット α の合成ペプチド

背景

ホスファチジルイノシトール3キナーゼは、85 kDa の調節サブユニットと 110 kDa の触媒サブユニットから構成されています。この

遺伝子によってコードされるタンパク質は触媒サブユニットであり、ATPを用いて PtdIns、PtdIns4P、および PtdIns(4,5)P2 をリン酸化します。この遺伝子は発がん性があり、子宮頸がんとの関連が示唆されています。この遺伝子の偽遺伝子は 22 番染色体上に定義されています。[RefSeq 提供、2016 年 4 月]

研究分野

-

画像データ



PI3 キナーゼ触媒サブユニット アルファ ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、マウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。